



菁義中だより



白岡市立菁義中学校

第1号

令和6年4月8日(月) 生徒数117名

菁義中学校 HP



入学・進級

おめでとうございます。

← 菁義中学校前の桜

校長 新井 範夫

32名の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。そして、43名の2年生のみなさん、42名の3年生のみなさん、進級おめでとうございます。開校78年目を迎えた歴史と伝統のある菁義中学校での新たな学びがスタートしました。一人ひとりが目標をもって何事にも積極的に取り組み、みんな仲良く、楽しく、充実した学校生活を送ってください。

昨年度末、インフルエンザの罹患者が非常に多く、2つの学年で学年閉鎖という措置をとらせていただきました。学校として、未だ終息に至らない新型コロナウイルス感染症とともに、感染防止へ細心の注意を払って、生徒の安心・安全を配慮した教育活動を進めて参ります。保護者の皆様、地域の皆様、今までと変わらぬ菁義中学校へのご指導、ご鞭撻、ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

さて、中学生として新しい学びをスタートする1年生のみなさん、この3年間でどんなことを目指すのか、どのようなことができるようになりたいのか、少し抽象的になってしまいましたが、志は立てたでしょうか。そして、進級した2, 3年生のみなさんも、新たな1年の学びをスタートします。この1年間でどんなことを目指すのか、どのようなことができるようになりたいのか、志は立っているでしょうか。

『志を立てて、もって万事の源となす』という言葉があります。この言葉は、幕末の思想家で教育者でもあった吉田松陰が、いとこの元服を祝って贈った言葉だそうです。吉田松陰は松下村塾という学び舎で、幕末から明治維新期にかけて活躍した高杉晋作や伊藤博文をはじめとした多くの門下生を育てた人です。この『志を立てて、もって万事の源となす』とは、何事も志を立てることが全ての源である。つまり、志を立てることからすべてが始まるのだということを言っています。

ここで言う志は、目的や目標のことです。この言葉のように、勉強でも運動でも何かをしようとするときには、明確な目標を持たないと、本当の意味で真剣に取り組むことができないと思います。言われたからしかたなくやっているのでは、身につくものも身につきません。よくスポーツの世界では、やらされている練習のうちは、いくらやっても伸びない。そこには、本人の目的や目標がないからです。逆に、目的や目標を持って自らやる練習に変わったときに大きく伸びると言われます。

勉強でも運動でも仕事でも、何かに取り組もうとするときには、志を立てること、目的や目標を立てることが如何に大切であるかということをみなさんには悟ってもらいたいと思います。

中学生として新しい学びをスタートする1年生のみなさん、そして、進級して新たな1年の学びをスタートする2, 3年生のみなさん、それぞれがこれから送る中学校生活の期間に違いはありますが、『志を立てて、もって万事の源となす』という言葉が意味していることを意識して、将来の夢を大きく描き、具体的な目標を立てて、自分の生き方に前向きに心を向けていってください。

みなさんのますますの活躍を心から期待して、新年度始めのあいさつとします。